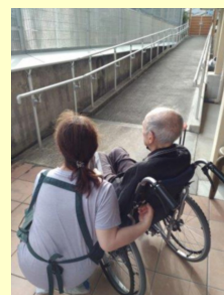




有料老人ホーム共生の里

昼夜問わず「おい」と大きな声を出してヘルパーを呼ぶ利用者がいます。訪問すると特に用件が無いこともありますが、その声には「側にいて欲しい」という思いが感じられます。時には腹を立て、強い口調の言葉を発している時もありますが、その奥には不安や寂しさがあるのだと思います。そんな心を読み取りながら、穏やかに安心して過ごしてもらえるような関わりをしていきたいです。



共生の里訪問看護ステーション

利用者の訪問には制限があります。特に認知症や独居の利用者には、次の訪問までの間、ご飯はしっかり食べられているか、転倒していないか等、心配になります。しかし利用者には訪問看護だけでなく、ケアマネージャー、往診に来てくれる医師・看護師、食べるものを持ってきたり日常生活の介助をしてくれたりするヘルパー、薬をどうしたら飲めるか考えてくれる薬剤師、体調面の確認をしながら受け入れてくれるショートステイやデイサービス等々、色々な職種の人々が関わっていて在宅での生活を送っていただけるのです。

鶴橋からの通信

自民と維新が連立政権を組むことになりました。両党の合意では、大阪を副首都とする法案づくりを進めるそうです。早速、関西の鉄道会社や建設会社の株価が上昇しています。副首都になれば政府機関の一部が移転してくるそうで、その費用は数兆円に上るとか。万博が終わりようやく落ち着くと思ったら、これまた景気の良い話です。でも、そんなに背伸びして大丈夫でしょうか。不動産の高騰などマイナス面の心配をせずにいられません。